

WindowsServer2008R2+IIS7.5+PHP5.4+MicrosoftSQLServer2008R2 の構築方法

1 IISのインストール

- 1.1 [役割の追加] を起動する。
- 1.2 [Web サーバー > IIS] にチェックを入れ次へ進む。
- 1.3 [アプリケーション開発 > CGI] にチェックを入れ次へ進む。
- 1.4 インストールを実行する。

2 PHPのインストール設定

- 2.1 [PHP 公式サイト](http://www.php.net/) (<http://www.php.net/>) から VC9 x32 Non Thread Safe 版 zip バイナリ をダウンロードする。

2014/2 現在 PHP5.5.9 が最新だが、SQL ドライバの関係で、PHP5.4 (x86) をインストールすること。

SQL ドライバが対応した時点で PHP5.5.9 にバージョンアップすること。

- 2.2 C:\php¥5.4 フォルダを作成し、解凍したファイルを配置する。
- 2.3 php.ini-development または php.ini-production をコピーし、php.ini として同じフォルダに保存する。
- 2.4 php.ini を開き、以下の箇所を編集して保存する。

fastcgi.impersonate = 1 ※コメントを外す

IIS の FastCGI では、呼び出しクライアントのセキュリティトークンを偽装する機能がサポートされている。これにより、要求が実行されるセキュリティコンテキストを IIS で定義できる。

fastcgi.logging = 0 ※コメントを外す

cgi.fix_pathinfo=1 ※コメントを外す

cgi.fix_pathinfo では、CGI への本来の PATH_INFO/PATH_TRANSLATED がサポートされている。従来の PHP の動作では、PATH_TRANSLATED を「SCRIPT_FILENAME」に設定し、PATH_INFO の定義については配慮していなかった。PATH_INFO の詳細については、CGI の仕様を参照すること。PATH_INFO を 1 に設定すると、仕様に準拠するように PHP CGI のパスが修正される。

cgi.force_redirect = 0 ※コメントを外して 1 から 0 に変更

open_basedir = "D:\inetpub\wwwroot" ※コメントを外す

Web サイトのコンテンツが配置されているフォルダーまたはネットワーク パスを指すようにする。

extension_dir = "./ext"

PHP 拡張機能がある場所を設定する。通常、PHP 5.5.9 の場合は、extension_dir = "./ext" と設定する。

※php.ini の変更後は IIS を再起動する。

3 フォルダのアクセス権の設定

C:\¥php フォルダのプロパティ画面から、セキュリティタブを開き、IIS_IUSRS ユーザーの読み取りアクセス権を設定する。

4 IISのPHP用ハンドラマッピングの設定

- 4.1 IIS マネージャーを起動する。
- 4.2 サーバーを選択し、ハンドラ マッピングをダブルクリックする。
- 4.3 モジュール マップの追加をクリックする。
- 4.4 ダイアログで次のように入力する。

要求パス： *.php

モジュール： FastCgiModule

実行可能ファイル： C:\¥php¥5.4¥php-cgi.exe ※実際に配置したパスを設定

名前： PHP_via_FastCGI ※任意の名前を入力する

- 4.5 要求の制限をクリックし、ダイアログで「要求のマッピング先が次の場合のみハンドラーを呼び出す」にチェックを入れ、「ファイルまたはフォルダー」を選択する。[OK] をクリックして各々のダイアログを閉じる。モジュールマップの追加のメッセージボックスが表示されたら [OK] をクリックする

5 IIS Default App Poolの32bit有効化

- 5.1 IIS マネージャーにて [サーバー名] - [アプリケーション プール] - DefaultAppPool を選択し、詳細設定をクリックする。
- 5.2 32 ビットアプリケーションの有効化を True に変更し [OK] をクリックする。

※2014/2 現在 SQL Server ドライバが PHP5.4 の 32 ビット版までの対応のために必要。

6 SQL Server ドライバのインストール

- 6.1 Microsoft から [Microsoft Drivers 3.0 for PHP for SQL Server](http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=20098) をダウンロードする。

「SQLSRV30」をダウンロードする。

このドライバは PHP5.4 までの対応のみで、PHP5.5.9 では動かない。

PHP5.5.9 のドライバーが出たら入れ替えること。

<http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=20098>

2014/2 現在 Microsoft Drivers 3.0 for PHP for SQL Server

- 6.2 ダウンロードした zip ファイルを展開し、以下の 2 ファイルを PHP フォルダ配下の ext フォルダにコピーする。

php_pdo_sqlsrv_54_nts.dll ... Non Thread Safe 版

php_sqlsrv_54_nts.dll ... Non Thread Safe 版

※54 版は SQL 2012 版に対応している。

- 6.3 php.ini の extension に設定を追記する。

extension=php_pdo_sqlsrv_54_nts.dll

extension=php_sqlsrv_54_nts.dll

7 Visual C++ Runtimeのインストール

- 7.1 Microsoft から [\[Microsoft Visual C++ 2013 再頒布可能パッケージ\]](#) をダウンロードする。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=40784>

2014/2 現在 Visual Studio 2013 の Visual C++ 再頒布可能パッケージ

- ## 7.2 ファイルをダブルクリックしてウィザードに従いインストールする。

8 SQL Server Native Clientのインストール

- 8.1 Microsoft から [SQL Server 2012 Native Client](#) (sqlncli.msi) をダウンロードする。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=29065>

2014/2 現在 Microsoft® SQL Server® 2012 Feature Pack

- ## 8.2 ファイルをダブルクリックしてウィザードに従いインストールする。

※SQL Server 2008 R2 がインストール済みでバンドルされている Native Client がある状態でも、再度 2012 版クライアントをインストールすること。

9 構成の確認

- 9.1 C:\inetpub\wwwroot に以下の内容のテキストファイルを作成し、phpinfo.php として保存する。

```
<?php phpinfo() ?>
```

- ## 9.2 ブラウザを起動し、次のアドレスを開く。

<http://localhost/phpinfo.php>

- ### 9.3 PHP 構成情報を表示したページが表示されることを確認する。

PHP Version 5.9.5	
System	Windows NT JOH04 6.1 build 7601 (Windows Server 2008 R2 Standard Edition Service Pack 1) AMD64
Build Date	Feb 5 2014 10:59:06
Compiler	MSVC11 (Visual C++ 2012)
Architecture	x64
Configure Command	gscript /nologo configure.js "--enable-snapshot-build" "--enable-debug-pack" "--disable-zts" "--disable-isapi" "--disable-nsapi" "--without-mssql" "--without-pdo-mssql" "--without-pdo-oci8" "--with-pdo-oci8=C:\php-sdk\Oracle\instantclient_11\gskc_shared" "--with-oci8=11tc:\php-sdk\Oracle\instantclient_11\gskc_shared" "--with-enchanted=shared" "--enable-object-out-dir=/obj/" "--enable-com-dotnet=shared" "--with-mcrypt=static" "--disable-static-analyze" "--with-pdo"
Server API	CGI/FastCGI
Virtual Directory Support	disabled
Configuration File (php.ini) Path	C:\Windows
Loaded Configuration File	C:\php\5.9.5\php.ini
Scan this dir for additional .ini files	(none)
Additional .ini files parsed	(none)
PHP API	20121118
PHP Extension	20121212
Zend Extension	220121212
Zend Extension Build	API220121212,NTS,VC11
PHP Extension Build	API220121212,NTS,VC11

- 9.4 ページをスクロールし、mssqlに関する設定が反映されていることを確認する。

PDO

PDO support	enabled
PDO drivers	sqlsrv

pdo_sqlsrv

pdo_sqlsrv support	enabled
--------------------	---------

Directive	Local Value	Master Value
pdo_sqlsrv.client_buffer_max_kb_size	10240	10240
pdo_sqlsrv.log_severity	0	0

Dbar

※PDO の enabled が sqlsrv になっていることを確認する。

9.5 これらのことが確認できない場合の対処方法

9.5.1 PHP ランタイムの設定（PHP Manager）

詳細な情報：<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/gg535422.aspx>

IIS には、Web サイトが使用する PHP ランタイムのバージョンを簡単に切り替えたり、ランタイムの設定を IIS マネージャーから行うための拡張モジュール PHP Manager for IIS（以降、IISManager）が用意されている。PHP Manager を使用すると、PHP ランタイムのバージョンの切り替えや、構成ファイル（php.ini）の編集をユーザーフレンドリな GUI を使用して行うことができる。

9.5.2 Web Platform Installer（Web PI）を使用したインストール

詳細な情報：<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/gg535422.aspx>

Web PI はマイクロソフトより公開されている無償の統合・インストーラーであり、Windows OS の Web 環境の構築や、関連するアプリケーションのインストール作業を支援する。